

ブルースカイソーラーの九州 4 拠点 発電所併設蓄電システムを採用

株式会社パワーエックス

株式会社パワーエックス（本社：岡山県玉野市、取締役兼代表執行役社長 CEO：伊藤 正裕）は、ブルースカイソーラー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：藤宮 康洋）が運営する九州エリアの太陽光発電所 4 拠点向けに、蓄電システム「Mega Power」の採用が決定しました。今回採用されるのは、合計 11 台（総蓄電容量 30.1MWh）です。

各発電所では、パワーエックスとパートナー企業であるニシム電子工業株式会社（本社：福岡県福岡市博多区、代表取締役社長：山科 秀之）が共同提供する「太陽光併設蓄電池パッケージ」を導入し、2026 年春から順次運転を開始する予定です。エネルギーマネジメントシステム「TAMERBA EMS」を活用し、日中に発電した電力を蓄電池に充電し、電力需要が高まる夕方や夜間などに放電して供給します。

これにより発電事業者は、出力抑制による売電収入の減少リスクを軽減できるほか、併設太陽光発電所の売電方式を固定価格買取制度（FIT）からフィードインプレミアム制度（FIP）へ切り替えることで、より高い事業性が期待できます。加えて、社会全体としても、天候によって変動する再生可能エネルギーを余すことなく活用でき、持続可能な社会の実現に貢献します。

なお、本事業は資源エネルギー庁の「再生可能エネルギー電源併設型蓄電池導入支援事業」に採択されています。また、今回の導入にあたって、みずほ証券株式会社（本社：東京都千代田区、取締役社長：浜本 吉郎）が新たに大規模蓄電池導入ファンドを組成します。

パワーエックスは、今後も本パッケージの導入拡大を通じて、再生可能エネルギーの普及促進と電力インフラの脱炭素化に貢献してまいります。

このたび採用されたのは以下のとおりです。

1. 採用システム

パワーエックス製 蓄電システム「Mega Power」（太陽光併設蓄電池パッケージ）

2. 設置拠点および採用内容

拠点	蓄電コンテナ数	蓄電容量（公称値）	蓄電システム PCS 出力
大分県宇佐市	3 台	8,226 kWh	1,995kW
鹿児島県伊佐市	3 台	8,226 kWh	1,999kW
鹿児島県鹿屋市	2 台	5,484 kWh	1,500kW
鹿児島県南九州市	3 台	8,226 kWh	1,750kW

3. 運転開始時期

2025 年度 3 月以降、順次運転開始予定

【本件に関する報道関係者お問い合わせ窓口】

株式会社パワーエックス 社長室 広報担当（担当者:大津）

Email: pr@power-x.jp TEL: 050-1754-0205